

第2章 調査結果の要約

1 定住性

(1) 〈普段の買い物が便利である〉が約8割、〈落書きが減少したと感じる〉が7割台半ば

ア 居住地の評価については、全18項目のうち〈普段の買い物が便利である〉〈落書きが減少したと感じる〉〈通勤や通学などの交通の便が良い〉〈快適で安全なまちである〉〈まちなかの花や緑が多い〉の上位5項目で肯定的評価（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が6割以上となった。

イ 〈自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる〉は、否定的評価（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）が唯一6割を超えている。

ウ 前回調査と比較すると、17項目中15項目で肯定的評価が増加しており、〈地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している〉〈地域の施設（建物や道路など）は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている〉〈子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている〉〈男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている〉〈「障がい者」「子ども」「女性」「インターネットによる人権侵害」について、偏見や差別がない〉の5項目で4ポイント以上の増加となっている。

エ 肯定的評価が約8割と最も高い〈普段の買い物が便利である〉を地域別にみると、第4地域、第7地域、第12地域、第15地域、第6地域で8割台後半と高い一方、第2地域が唯一5割台と低くなっている。

(2) 【暮らしやすい】は本設問を開始した平成13年以降で前回に続いて最高値を更新

ア 【暮らしやすい】（「暮らしやすい」＋「どちらかといえば暮らしやすい」）は86.9%で最高値を更新し、【暮らしにくい】（「暮らしにくい」＋「どちらかといえば暮らしにくい」）は11.3%と最も低い割合となった。

イ 【暮らしやすい】を地域別にみると、第12地域で9割台半ばと最も高くなっている。

ウ 【暮らしにくい】を地域別にみると、第2地域と第14地域で2割台と高くなっている。

エ 【暮らしにくい】と回答した人に、その理由を聞いた結果、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」が4割台半ば超と6年連続で最も高くなっており、次いで「交通の便が悪いこと」、「買い物がしにくいこと」、「治安が良くないこと」などとなっている。

(3) 定住意向がある人は、8割台半ばで前回調査をさらに上回り、5年連続で最高値を更新

ア 【定住意向】（「ずっと住みたい」＋「当分は住みたい」）は、令和3年度調査で初めて8割台となって以降増加を続けている。

イ 【定住意向】を地域別にみると、第1地域で9割強と最も高く、次いで第5地域、第10地域、第12地域が8割台後半で続いている。

(4) 定住性全体について

ア 〈普段の買い物が便利〉〈交通の便が良い〉〈快適で安全なまち〉などの利便性や快適性と、〈落書きが減少した〉〈まちなかの花や緑が多い〉〈ごみの減少〉〈景観・街並みが良好〉など美化意識の向上など多くの項目で肯定的にとらえられ、区全体としての暮らしやすさの高評価や定住意向の向上につながっていくものと考えられる。

イ 〈交通の便が良い〉については、割合が最も高い第1地域（91.8%）と最も低い第8地域（47.7%）の差が40ポイント以上あり、地域差が大きい項目である。

ウ 必要と考えられる今後の取り組み

〈自転車利用者の交通マナー〉（6割強）と〈文化芸術に親しめるまち〉（約5割）は【そう思わない】の否定的評価が高く、【そう思う】－【そう思わない】のポイント差が18項目中2項目のみのマイナス項目であることから、取り組みのさらなる強化が求められる。

2 大震災などの災害への備え

(1) 【備蓄・買い置きあり】は前回調査から3.5ポイント減少するも7割台半ば近く

ア 食料の備蓄や防災用具の買い置きなどについては、「特に災害対策としてではないが、一定量の飲食物などの買い置きはある」が44.6%で最も高く、「災害に備えて食料の備蓄や防災用具などを用意している」が28.0%となっており、これらを合わせた【備蓄・買い置きあり】は72.6%となっている。一方、「特に用意していない」は23.3%であった。

イ 災害に備えての準備状況を経年で見ると、【備蓄・買い置きあり】は前回調査時から3.5ポイントの減少となっているものの、「災害に備えて食料の備蓄や防災用具などを用意している」は前回に続いて3割近くを保っている。

(2) 備蓄や防災用具の買い置きなどの内容では、「水」が9割台半ば近く、「食料」が8割台半ば超

ア 備蓄や防災用具の買い置きなどの内容では、「水」が9割台半ば近く、「食料」が9割近く、「あかり」が7割台半ば近くで上位3備蓄品となっている。それに続くのが、「簡易トイレ」と「電池・予備バッテリー」が5割台後半、「医薬品」「情報収集手段（携帯ラジオなど）」が4割台後半となっている。

イ 前回調査と比較すると、「情報収集手段（携帯ラジオなど）」(+3.1pt)が最も増加している。

ウ 水と食料の備蓄量について、国の「最低3日分、できれば1週間分」という目標に照らすと、「3日以上1週間分未満」と「1週間分以上」を合わせた【3日以上1週間分の備蓄あり】で「水」は約5割、「食料」は4割台半ばとなっている。なお、前回調査で備蓄量が大幅に増加した「簡易トイレ」についてはさらに増加して4割台半ば近くとなっている。

(3) 最も高い認知は【避難場所】の<場所>で3割台半ば、最も低い認知は【第一次避難所】の<意味>で1割台半ば超

ア 前回調査との比較では、3種の避難場所すべてで<場所>と<意味>の認知（「知っている」の割合）が同じ割合、または微減となっている。認知の低さと浸透度が進んでいないことは、避難行動の流れに大きく影響するため、【3種の避難場所】の<場所>と<意味>の認知を上げるための周知の強化と、周知方法の工夫が必要である。

イ 地域的に見た特徴的なこととして、第15地域が前回調査で3種の避難場所の<場所>と<意味>の認知が下位から上位へ大幅に上昇したが、今回はさらに上昇し、<場所>では3種とも第1位で、<意味>では「避難場所」と「第一次避難所」の2種が第1位となっており、地域区民への周知がさらに進んだことが伺える。

(4) 大規模災害時の避難生活場所は「避難所」が5割超と漸増傾向

大規模災害時の避難生活場所は「避難所」(51.8%)が5割強と最も高く、次いで、「別居している家族や親戚の家」(24.1%)であった。前回調査との比較では特に大きな違いは見られないものの「避難所」の割合が漸増傾向となっている。

3 洪水対策

- (1) 「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」を【見たことがある】は9割強
ア 『足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ』について、「見たが、内容までは覚えていない」が39.3%で最も高く、次いで「見て、自宅の浸水深を確認した」(30.7%)、「見て、内容は確認した」(21.2%)となり、これらを合わせた【見たことがある】は9割強を占めた。
イ 【見たことがある】では地域別に大きな違いは見られないものの、より認知内容の高い「見て、自宅の浸水深を確認した」では、荒川に面している第1～3地域が4割前後と高く、区の中央北部に位置する第9～11地域は2割台前半から2割台半ばと低くなっている。
- (2) 河川はん濫時の避難場所を事前に決めている人は9割台半ば
ア 河川がはん濫する恐れがある場合の避難場所は、「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」が5割台半ばを占めており、次いで、「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所」が2割半ば近くとなっており、【決めている】(94.1%)は9割台半ばとなっている。一方、「決めていない」は4.0%となっている。
イ 地域別に見ると、「自宅にとどまる（自宅内の高い階への移動を含む）」は、第11地域、第12地域、第7地域で6割台と高く、「近隣の小・中学校など区が開設する水害時の避難所」は、第9地域、第6地域、第8地域が2割台半ば超で高くなっている。一方、「決めていない」は、第13地域が7.5%と他の地域に比べて最も高くなっている。
- (3) 河川はん濫時の避難場所を決めていない理由は「避難する場所がわからないから」が3割
避難場所を事前に決めていない理由は、「避難する場所がわからないから」が3割で最も高く、次いで「その他」は2割台半ば、「近くに避難できる場所がないから」と「河川のはん濫は起こらないと思っているから」が1割台半ばとなっている。

4 区の情報発信のあり方

- (1) 区の情報入手手段として、「あだち広報」が7割超、「トキメキ」が3割台半ば
- ア 区に関する情報入手手段としては、「あだち広報」が7割超で、依然として他の媒体に比べて高くなっており、これに次ぐ「トキメキ」(35.9%)、「町会・自治会の掲示板・回覧板」(25.7%)、「区のホームページ」(24.4%)などとの間には大きな差がある。
- イ 「あだち広報」「トキメキ」「町会・自治会の掲示板・回覧板」などの紙媒体は、年代が上がるほど割合が高くなり、「区のホームページ」「Aメール」などのICTを活用した媒体は壮年期で割合が高くなっている。
- (2) 必要なときに必要とする区の情報【得られている】が7割超
- ア 区の情報【得られている】を聞いたところ、【得られている】(「十分に得られている」+「ある程度得られている」)が7割超、一方、【得られていない】(「得られないことが多い」+「まったく得られない」)は1割台半ばとなっており、この5年間は、【得られている】が漸減傾向となっている。
- イ 性・年代別に見ると、【得られている】は女性の50～60代で8割前後と高く、逆に男女とも18～29歳で5割台前半と低くなっている。また、18～29歳の男女は「区の情報に関心がない」(男性：17.9%、女性：14.9%)で他の性・年代層に比べて特に高くなっている。
- (3) 区の情報【得られていない】理由は「情報の探し方がわからない」が3割台半ば超
- 必要なときに必要とする区の情報【得られていない】と答えた理由としては、「情報の探し方がわからない」が37.2%と最も高く、「情報が探しにくい」(28.0%)と合わせると6割台半ばを占めており、この割合が過去5年間で増加傾向にあることから、情報の探しやすさについて、なお一層の工夫が必要である。

5 健康

(1) 区のキャッチフレーズを【知っている】は4割台半ばで前年から下降

ア 区のキャッチフレーズである『あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～』について、「内容まで知っている」が11.9%で、これに「詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある」(32.7%)を合わせた【知っている】は44.6%となり、「知らない(初めて聞いた)」(53.0%)を8.4ポイント下回っている。

イ 区のキャッチフレーズの認知度を経年でみると、【知っている】は平成30年調査の3割台半ば以降は前回調査の5割近くまで増加を続けていたが、今回は3.7ポイントの減少となった。

ウ 区のキャッチフレーズの認知度を性別でみると、【知っている】は女性(52.5%)の方が男性(34.7%)より17.8ポイントと大きく上回っており、男性への周知が課題となっている。

エ 性・年代別でみると、【知っている】は女性の40代が63.2%で最も高く、逆に男性の60代で24.5%と最も低く、女性の40代に比べて40ポイント近く低くなっており、性・年代層による差が大きくなっている。

(2) 野菜から「食べている」人は6割台半ばで調査年度によって増減を繰り返している

ア 糖尿病の予防には、“食事の最初に野菜をよくかんで食べることが効果的である”と言われていたことに対し、「(野菜から)食べている」人は6割台半ば、「食べていない」人は2割台半ばとなっている。

イ 「(野菜から)食べている」人の割合は、前回調査から3.6ポイント減少している。

ウ 性・年代別でみると、「(野菜から)食べている」は、女性は6割台半ばから7割台半ばと年代による大きな差はないが、男性では40代以下で約7割から8割と高いものの、50代以上では5割台と低くなっており、男性の高年齢層への周知、働きかけが課題となっている。

(3) 1日の野菜350g以上の摂取は【できている】が4割台半ばで、【できていない】(5割)を下回る

ア 野菜の摂取量については、“1日350g以上”が目標とされており、実際に【できている】(「できている」+「だいたいできている」)は4割台半ばとなっている。

イ 性・年代別でみると、【(野菜の1日350g以上の摂取が)できている】は女性(49.0%)の方が男性(37.0%)より12.0ポイント高く、女性の40代以上で5割台と高く、逆に男性の18~29歳、40代、60代以上と女性の30代以下で3割台と低くなっている。

(4) 自分は【健康である】と自認している人は6割台半ば

ア 自身の健康状態への認識は、「健康な方だと思う」が6割を占めており、「非常に健康だと思う」を合わせた【健康である】は、6割台半ばとなっている。一方、【健康ではない】(「あまり健康ではない」+「健康ではない」)と感じている人は、3割強となっている。

イ 【健康である】を性別で見ると、女性の方が男性より5.9ポイント高く、性・年代別に見ると、女性の18~29歳と40~50代で7割台と高く、逆に男性の60代で5割台と最も低くなっている。

(5) 医療が必要なときにかかりたいと思える医療機関が身近にある人は、7割台半ば超

ア 医療が必要なときにかかりたいと思える医療機関が身近に「ある」は77.9%となっている。

イ 性別にみると、「ない」は男性(22.3%)の方が女性(17.1%)より5.2ポイント高く、性・年代別にみると男性の30代で4割強と最も高く、女性の70歳以上で6.4%と最も低くなっている。

6 スポーツ・読書

- (1) 【運動している】は6割、「30分以上の運動を週2回以上」は2割台半ば
- ア 日常的な運動・スポーツの実施状況を見ると、「30分以上の運動を週2回以上」が2割台半ばで、以下「年に数回（時間は問わない）」までを含めた【運動している】は6割となり、前回調査から微増となっている。
 - イ 性別で見ると、「30分以上の運動を週2回以上」は男性の方が女性より5.5ポイント高く、性・年代別に見ると、男性の40代が3割強で最も高く、女性の30～40代が1割台と低くなっている。
- (2) 継続的に実施している運動・スポーツは「ウォーキング」が5割弱で突出
- ア 【運動している】と回答した人が、継続的に実施している運動・スポーツは、「ウォーキング」が約5割で最も高く、これに「筋力トレーニング」が2割強、「健康体操（エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど）」が2割で続いている。
 - イ 継続的に実施している運動・スポーツを性・年代別にみると、「ウォーキング」は女性の18～29歳と男性の70歳以上で6割台と高く、「筋力トレーニング」は男性の18～29歳で4割台と最も高く、「健康体操」は女性の方が男性より17.8ポイント高くなっている。
- (3) 運動していない人が運動・スポーツを行うためのきっかけは、「身近な場所で運動・スポーツができる」が3割台半ば近く、次いで「手頃な価格で施設を利用できる」が約3割
- ア 運動・スポーツを行いたいと思うきっかけとなるのは、「身近な場所で運動・スポーツができる」（3割台半ば）、「手頃な価格で施設を利用できる」（約3割）、「レベルを気にせず参加できる機会がある」（2割近く）が上位3項目となっている。
 - イ 前回調査と比べると、順位に変動はないものの、「一緒に運動・スポーツできる仲間と出会う」が4.4ポイント減少している。
- (4) 最近1か月間に読書に関わる行動があった人は8割強
- ア 最近1か月間の読書に関わる行動状況は、【読書に関わる行動あり】が81.6%で前回調査から大きな違いはなかった。
 - イ 読書に関わる行動の内容では、「本を読む」（44.6%）、「新聞を読む」（39.6%）、「雑誌を読む」（32.1%）、「書店・古書店に行く」（30.8%）、「漫画を読む」（29.4%）の順位であった。
 - ウ 前回調査との比較では、「新聞を読む」が3.5ポイントの減少となっている。
 - エ 性・年代別に見ると、「新聞を読む」は年代が上がるほど割合も上がり、「漫画を読む」と「本などの通販サイトをみる」は年代が上がるほど割合が下がる傾向が伺える。また、「書店・古書店に行く」は女性の40代以下で5割前後と高くなっている。

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」を【知っている】(4割)が「知らない(初めて聞いた)」(5割台半ば)を下回る
- ア 足立区独自の犯罪抑止運動である『ビューティフル・ウィンドウズ運動』については、【知っている】(「知っていて、活動を実践している」+「知っているが、特に何も行っていない」+「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」)が40.9%となっている。
- イ 前回調査と比較すると、【知っている】は5.8ポイント減少しており、本調査を開始した平成26年度以降で最低の割合となった。
- ウ 性別にみると、【知っている】は女性の方が男性より8.1ポイント高く、性・年代別にみると、女性の40～50代で5割台半ばと高く、男性の60代で2割台半ばと最も低くなっている。
- (2) 居住地域の治安状況が【良い】は6割台半ばで変わらず
- ア 居住地域の治安状況については、【良い】(「良い」+「どちらかといえば良い」)が6割台半ばで前回調査からの違いはなかった。
- イ 治安状況が【良い】について地域別にみると、第12地域、第15地域、第1地域で7割台と高くなっている。一方、第13地域と第10地域で5割前後と低く、地域差がみられる。
- ウ 治安が【良い】と評価した理由としては、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が5割台半ばで最も高く、次いで「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」が3割台半ばで続き、「テレビや新聞などで、お住まいの地域における犯罪発生ニュースが少ないから」が前回から5ポイント増加して2割台半ばで第3位となった。
- エ 治安が【悪い】と感じる理由としては、「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」が4割近くで最も高く、以下「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」が3割台半ば、「治安が悪いイメージがあるから」が2割台半ばとなっている。この上位3項目はいずれも、前々回と前回調査で新設された項目であり、単純に経年比較はできない。
- (3) 治安対策として区に特に力を入れてほしいことは、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が5割台半ば近く
- ア 治安対策として足立区に力を入れてほしいことは、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が5割台半ば近くで最も高く、次いで、「街路灯など安全に配慮した道路、公園の整備」が4割台半ば超、「安全・安心パトロールカー(青パト車)による防犯パトロール」が3割強となっている。
- イ 治安対策として足立区に力を入れてほしいことを地域別にみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は第2地域と第12地域で6割と高く、「街路灯など安全に配慮した道路、公園の整備」は第6地域で約6割、「安全・安心パトロールカー(青パト車)による防犯パトロール」は第2地域で4割台半ば近くと最も高くなっている。

8 環境・地域活動

(1) 環境のために心がけていることは「ごみと資源の分別」が8割台半ば、次いで「不要なレジ袋を断る」が7割台半ば超

環境のために心がけていることでは、「ごみと資源の分別を実行している」が8割台半ばで今回も最も高くなっている。次いで「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(77.8%)、「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」(55.1%)、「外食時に食べられる分だけ注文する」(54.0%)、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(50.6%)までが上位5位となっており、前回調査と順位、割合とも大きな違いはない。

(2) 環境への影響を考えた行動は【行動している】が7割台半ば

ア 環境への影響を考えた日頃からの行動については、「行動している」が28.9%で、「行動することが時々ある」(44.1%)を合わせた【行動している】は3.9ポイント増加し7割台半ばとなった。

イ 環境への影響を考えた行動を性・年代別でみると、【行動している】は女性の40代で8割台半ばと特に高く、逆に男性の30代、70歳以上と女性の70歳以上で6割台と低くなっている。

(3) 町会・自治会の加入状況は、「加入している」が5割半ば近く、「活動に参加した」が約4割

ア 町会・自治会への加入は、「はい(加入している)」が52.3%で「いいえ(加入していない)」(44.9%)を7.4ポイント上回り、町会・自治会への活動参加は「いいえ(活動したことがない)」が53.5%で「はい(参加したことがある)」(39.3%)を14.2ポイント上回っている。

イ 地域別に町会・自治会への加入状況をみると、第1地域と第12地域が6割台で高く、逆に第6地域が唯一3割台と低くなっている。町会・自治会活動への参加経験をみると、第10地域と第3地域が5割台で高く、逆に第4地域が2割台で最も低くなっている。

ウ 性・年代別に町会・自治会への加入状況をみると、女性の60代以上で7割前後と高く、逆に男女とも30代以下で2割台と低くなっている。町会・自治会活動への参加経験をみると、女性の60代以上で5割台と高く、逆に男性の30代と女性の30代以下で1割台と低くなっている。

(4) 町会・自治会に加入していない理由は「加入する必要性を感じないから」が3割台半ば

ア 町会・自治会に加入していない理由は「加入する必要性を感じないから」が3割台半ばで最も高く、「誘われないから」「加入の方法がわからないから」「人間関係がわずらわしいから」がそれぞれ1割から1割強。

イ 前回調査(令和5年度調査)との比較では、「加入する必要性を感じないから」が6.6ポイント増加し、「人間関係がわずらわしいから」が4.5ポイントの減少となっている。

ウ 性・年代別にみると、「加入する必要性を感じないから」は女性の50代(48.3%)が最も高く、「誘われないから」は男性の40代(18.0%)、「加入の方法がわからないから」は男性の18~29歳(22.6%)、「人間関係がわずらわしいから」は男性の60代(19.0%)がそれぞれ最も高くなっている。

(5) 居住地域のごみと資源の収集日の認知は【知っている】が9割台半ば

居住地域のごみと資源の収集日の認知状況は、「知っている」が8割超で、「なんとなく知っている」(11.9%)を合わせた【知っている】では93.5%を占めている。

9 「孤立ゼロプロジェクト」など

- (1) 「孤立ゼロプロジェクト」を【知っている】は3割台半ば、「知らない」が6割台半ば
 ア 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況は、【知っている】（「知っていて、内容も概ね理解している」(10.0%) + 「聞いたことはあるが、内容はわからない」(23.2%)）が33.2%となり、前回調査時の最高値をさらに更新した。
 イ 【知っている】を地域別で見ると、第2地域、第3地域、第12地域で約4割と高い一方、第9地域で2割台前半と最も低くなっており、地域差がかなり大きくなっている。
 ウ 「知らない(初めて聞いた)」を性・年代別で見ると、男女とも年代が下がるほど割合が高くなり、男女とも30代で8割から8割台半ばと高くなっている。
- (2) 「地域包括支援センター（ホウカツ）」について、【業務内容を知っている】は5割超
 ア 地域包括支援センター（ホウカツ）の認知状況は、【業務内容を知っている】は5割強と前回調査から微増となっているものの、「地域包括支援センター（ホウカツ）を知らない」は27.6%と前回調査時から約3ポイント減少している。
 イ 業務内容別の認知は、「高齢者の健康や介護の相談」が4割台半ばで最も高く、次いで「介護保険サービスの相談」（3割台半ば）、「高齢者宅への訪問調査」（2割台半ば超）、「介護予防教室や地域の居場所等の紹介」（2割台半ば）などと前回調査時と割合、順位とも大きな違いはない。
 ウ 【業務内容を知っている】を地域別で見ると、第8地域で6割台半ばと最も高く、第9地域と第13地域で4割超と低く、20ポイント以上の違いがある。
 エ 【業務内容を知っている】を性別で見ると、女性の方が男性より16.6ポイント高く、性・年代別で見ると、おおむね年代が上がるほど割合も高くなり、女性の60代で8割と最も高く、逆に男性の30代以下と女性の18～29歳で2割前後と低く、年代差が大きくなっている。
- (3) 高齢者の孤立防止や見守り活動に【協力したい】は2割台半ば
 ア 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向は、【協力したい】は長らく1割台に低迷していたが、前回調査時に2割台となり、今回調査でさらに上昇した。
 イ 性・年代別で見ると、【協力したい】は女性の60代以上で3割台と高く、男性の60代と女性の30代で1割台半ばと低くなっている。
- (4) 「フレイル」を予防する活動を「知っていて、活動を実践している」4.3ポイント増加し約2割
 ア 「フレイル」にならないために「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことの認知状況については、「知っていて、活動を実践している」が19.9%で前回調査時から4.3ポイント増加となった。
 イ 【知っている】を性別にみると、女性の方が男性より14.1ポイント高く、性・年代別にみると、女性の60代以上で7割台半ば超と高くなっているのに対し、男性の50代以下と女性の30代以下では4割台以下と低く、これらの年代層に向けての幅広い周知が必要である。
- (5) 就業者における仕事と仕事以外の生活の調和が「取れている」は4.7ポイント増加し5割台半ば
 ア 就業者における仕事と仕事以外の生活の調和について、前回調査と比較して、「取れている」は4.7ポイント増加し、「取れていない」が4.1ポイント減少し、ワークライフバランスが進んでいることが分かる。
 イ 「取れている」を性別で見ると、女性（60.0%）の方が、男性（52.7%）より7.3ポイント高く、性・年代別にみると、18～29歳（男性：46.9%・女性：64.5%）で男女差が最も大きくなっている。

第2章 調査結果の要約

(6) 「福祉まるごと相談課」を「知らない(初めて聞いた)」は8割台半ば超

ア「福祉まるごと相談課」について、「知っている(聞いたことがある)」は10.7%で「知らない(初めて聞いた)」は87.0%となっている。

イ「知っている(聞いたことがある)」を地域別で見ると、第10地域(16.1%)、第3地域(15.5%)、第15地域(15.5%)、第5地域(15.0%)で1割台半ばとなっているが、第9地域で4.8%と最も低く、第7地域と第13地域でもそれぞれ7.5%と低くなっており、地域別で差が大きくなっている。

10 「SDGs」・「協働・協創」

(1) SDGsの認知状況は、【知っている】が前回から3.3ポイント増加し8割

ア「SDGs」について「内容まで知っている」の35.4%と「詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある」の45.0%を合わせた【知っている】は80.4%となり、前回から3.3ポイント増加した。

イ性別でみると、【知っている】は男性の方が女性より2.8ポイント高くなっている。また、性・年代別でみると、【知っている】は、男性の40代で94.7%と最も高く、逆に男女とも70歳以上で6割前後と低くなっている。

(2) 区役所・区民・団体の協働や協創が進んでいるかについては【そう思う】が3割台半ば超、【そう思わない】が2割強

ア協働や協創による事業が進んでいると感じるかについては、「そう思う」(5.6%)と「どちらかといえばそう思う」(31.9%)を合わせた【そう思う】は3割台半ば超となり、前回調査時から8.7ポイントの増加となった。

イ【そう思う】は性差は特にないが、性・年代別でみると、【そう思う】は、女性の40代で4割台後半と最も高く、逆に女性の30代以下と男性の50代で3割台前半と低くなっている。

ウ一方で、「わからない」が男女ともに4割近くと高いことから、「孤立ゼロプロジェクト」(【知っている】33.2%)、「ビューティフル・ウインドウズ運動」(【知っている】40.9%)、「あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～」(【知っている】44.6%)などの区独自の取り組みの認知の低さに依るものであり、これらの取り組みの全体的な周知がより必要と考える。

(3) 地域と関わる自主的な取り組み・活動意向は「思う、または実施している」が7.0%、「誰かの活動の協力はしたいと思う、または協力している」が34.0%

家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動意向について、「思う、または実施している」が7.0%、「誰かの活動の協力はしたいと思う、または協力している」が34.0%で、「思わない」が55.0%と過半数を占めている。

11 区の取り組み

(1) 「足立区を良いまちにする活動をする人に共感」が7割台半ば近く、「足立区に愛着」が7割超

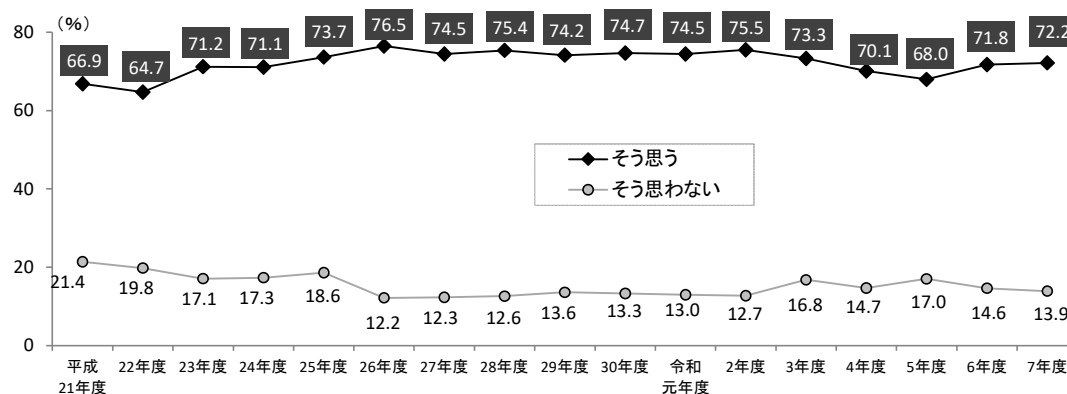
ア 平成21年度調査から今回の令和7年度調査まで17年にわたって経年で聴取している〈足立区に愛着をもっている〉〈足立区に誇りをもっている〉〈足立区を人に勧めたい〉の3項目について、今回の結果を【そう思う】(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の比率で見ると、〈足立区に愛着をもっている〉は72.2%、〈足立区に誇りをもっている〉は44.7%、〈足立区を人に勧めたい〉は47.1%となっている。

イ 経年でみると、【そう思う】は3項目とも増加しており、増加幅が大きいのは〈足立区を人に勧めたい〉で2.7ポイントとなっている。

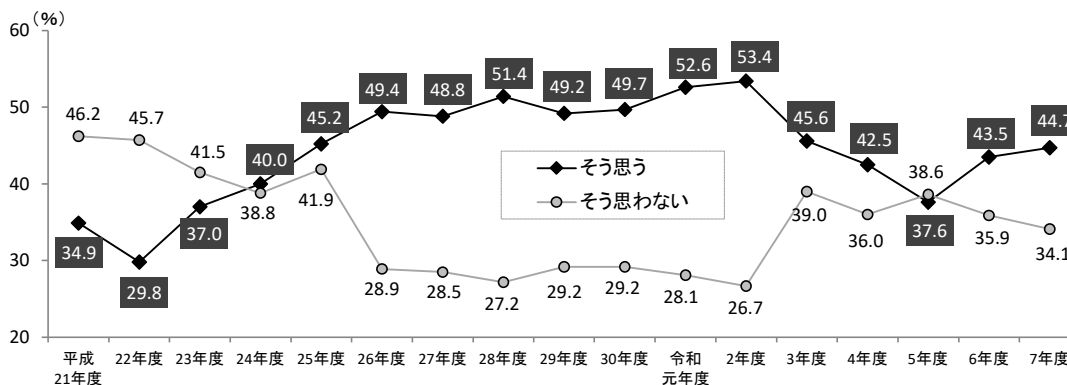
ウ また、〈足立区に誇りをもっている〉と〈足立区を人に勧めたい〉については【そう思う】と【そう思わない】の割合の値が同様に推移しており正の相関がうかがえる。

エ 居住年数別でみると、【そう思う】は〈足立区に愛着をもっている〉と〈足立区に誇りをもっている〉は居住年数が長くなるほど割合が高くなる正の相関がみられるが〈足立区を人に勧めたい〉については、どの居住年数別でも4割台と差がない。

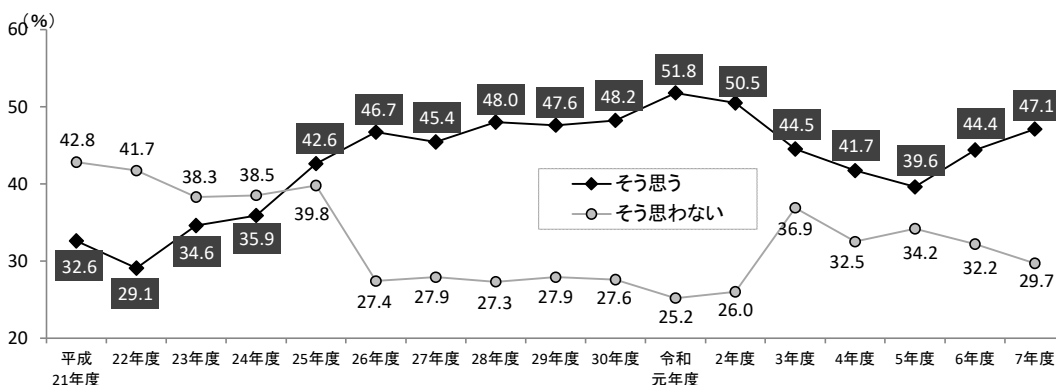
「足立区に愛着をもっている」



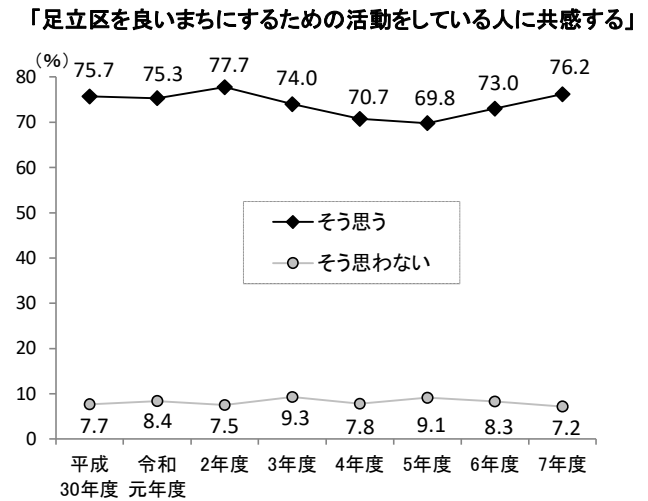
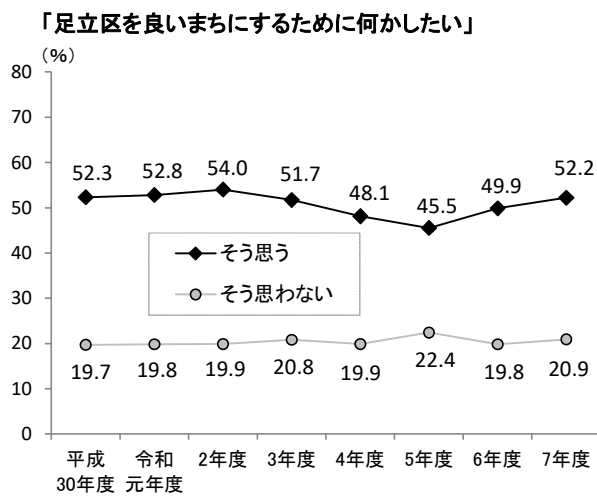
「足立区に誇りをもっている」



「足立区を人に勧めたい」



オ 平成30年度調査から新たに聴取項目に加えた〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉と〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉の2項目について、【**そう思う**】をみると、それぞれ52.2%、76.2%と、前記の3項目同様に割合が増加となっている。



(2) 区を良いまちにするための行動については、【**行動しなかった**】が6割弱で、【**行動した**】の3割強を大きく上回る

ア この1年間の行動については「行動しなかった」が40.1%と最も高く、「どちらかといえば行動していない」(18.4%)を合わせた【**行動しなかった**】は58.5%となっている。

イ 「行動した」は11.6%に留まり、「どちらかといえば行動した」(19.6%)を合わせた【**行動した**】は31.1%となっている。

ウ 前回調査と比べると、【**行動しなかった**】は2.8ポイントの減少となっている。

エ 区を良いまちにするための行動を区政満足度別にみると、満足度が高まるにつれて【**行動した**】の割合は増加し、『区政満足度』で〈不満〉と回答した層では【**行動した**】は14.3%に留まったが、『区政満足度』で〈満足〉と回答した層では【**行動した**】は42.2%となっている。

(3) 区の取り組みで満足している分野は、「情報提供」が4割台半ばで最上位、次いで「自然・緑化対策」が3割台半ば

ア 21分野の区の取り組みで、満足・やや満足と感じている分野について、数を制限しないで選んでいただいた。その結果、「情報提供」が43.1%と最も高く、次いで、「自然・緑化対策」(35.6%)、「保健衛生対策」(27.7%)、「職員の接客態度」(21.7%)、「高齢者支援」(21.1%)となっており、前回調査との上位5位の比較では、「職員の接客態度」と「高齢者支援」が入れ替わった。

イ 区の取り組みで満足している分野について、性別でみたときに、男性の方が女性より高いのは9分野、女性の方が男性より高いのは12分野と分野数では大きな違いはなかったが、性差で3ポイント以上ある分野は、女性の方が高いのが4分野に対し、男性の方が高い分野は1分野のみであった。

a 女性の方が男性より3ポイント以上高い分野

「保健衛生対策」(+10.6pt)、「子育て支援」(+5.7pt)、「情報提供」(+5.5pt)、「治安対策」(+3.3pt)

b 男性の方が女性より3ポイント以上高い分野

「職員の接客態度」(+3.3pt)

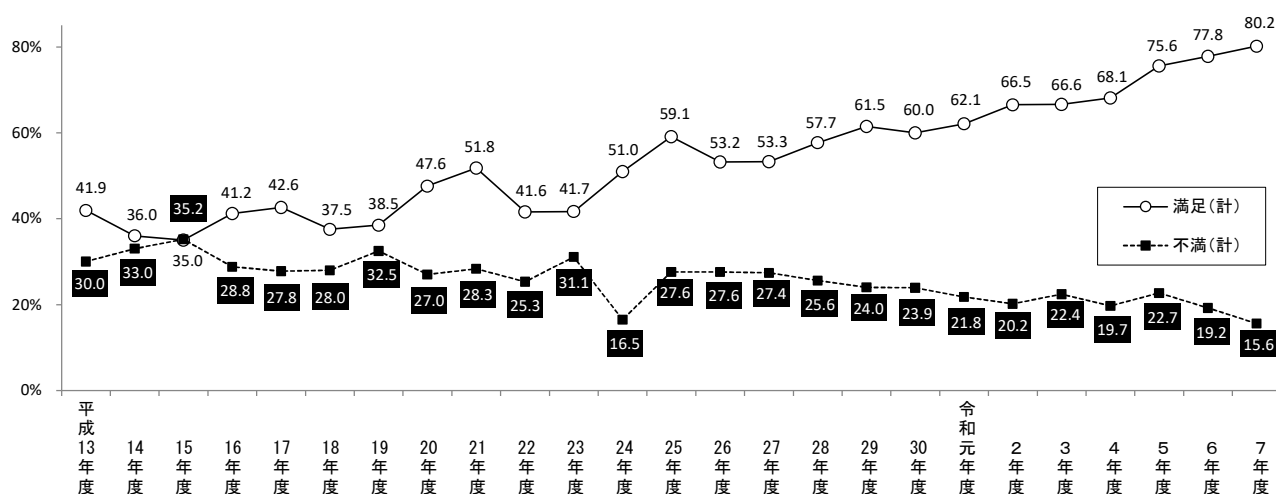
(4) 区の取り組みで不満な分野は、「交通対策」が2割強で最上位、次いで「都市開発」が1割台半ば近く

ア 21分野の区の取り組みで、不満・やや不満と感じている分野について、数を制限しないで選んでいただいた。その結果、「交通対策」が21.1%と最も高く、次いで、「都市開発」(12.2%)、「住環境対策」(11.7%)、「自然・緑化対策」(10.5%)などとなっている。

イ 区の取り組みで不満な分野について、性別で見ると、区の取り組みで満足している分野に比べ、男女の差が小さく、男性の方が女性より高い割合となった項目は21分野中19分野であったが、3ポイント以上高い分野は「ICT活用」(+3.9pt)のみであった。

(5) 区政全体について【満足】は8割となり、平成25年度※の設問開始以降の最高値を更新

ア 区政全体について、「やや満足」が65.7%と最も高く、「満足」(14.5%)を合わせた【満足】は80.2%となり、本設問を開始した平成25年度以降で初めて8割台となった。



※ 平成24年度までは「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「わからない」の5選択肢であったが、平成25年度以降は「わからない」の選択肢を除外した4選択肢となっており、単純に比較はできないが参考として掲載している。

イ 地域別で見ると、【満足】は第12地域で92.5%と特に高く、次いで、第15地域(86.2%)、第3地域(84.5%)などとなっている。一方、【不満】は第14地域で25.7%と最も高く、次いで、第10地域(19.4%)、第9地域(19.0%)などとなっている。

ウ 性・年代別にみると、【満足】は、男性の30代が85.7%と最も高く、次いで、男性の18~29歳(84.6%)、女性の50代(83.1%)が続いている。一方、【不満】は女性の40代で21.1%と最も高く、次いで女性の30代(19.8%)となっている。

(6) 今後特に力を入れてほしい分野は、「交通対策」が3割半ばで最上位、次いで「防災対策」が3割半ばで続く

ア 21分野の区での取り組みのうち、今後特に力を入れてほしい分野について、数を制限しないで選んでいただいた。その結果「交通対策」が36.8%と最も高く、次いで「防災対策」(33.2%)、「高齢者支援」(31.3%)、「都市開発」(28.2%)、「自然・緑化対策」(24.5%)などとなっている。

イ 地域別でみると、第6地域は「都市開発」「子育て支援」「学校教育対策」「産業振興」「男女共同参画推進」の5分野で最も高い割合となっている。また、第2地域で「保健衛生対策」と「資源環境対策」、第12地域で「高齢者支援」と「治安対策」、第13地域で「防災対策」と「自然・緑化対策」、第14地域で「交通対策」と「職員の接客態度」、第15地域で「障がい者支援」と「地域人材育成支援」の各2項目が最も高い割合となっている。

ウ 性別でみたときに、21項目中12項目で男性の方が女性より割合が高くなっている。

a 男性の方が女性より3ポイント以上高い取り組み

「ICT活用」(+4.5pt)、「地域活動支援」(+4.1pt)、「産業振興」(+3.5pt)、「自然・緑化対策」(+3.0pt)

b 女性の方が男性より3ポイント以上高い取り組み

「子育て支援」(+3.7pt)、「保健衛生対策」(+3.2pt)

エ 年代別にみて区全体より5ポイント以上高くなっている取り組み

a 40代は、21項目中最多の7分野で区全体より5ポイント以上高くなっており、特に「自然・緑化対策」と「学校教育対策」で8ポイント以上高くなっている。

b 60代では、4分野で区全体より5ポイント以上高くなっており、特に「高齢者支援」と「障がい者支援」の2分野で8ポイント以上高くなっている。

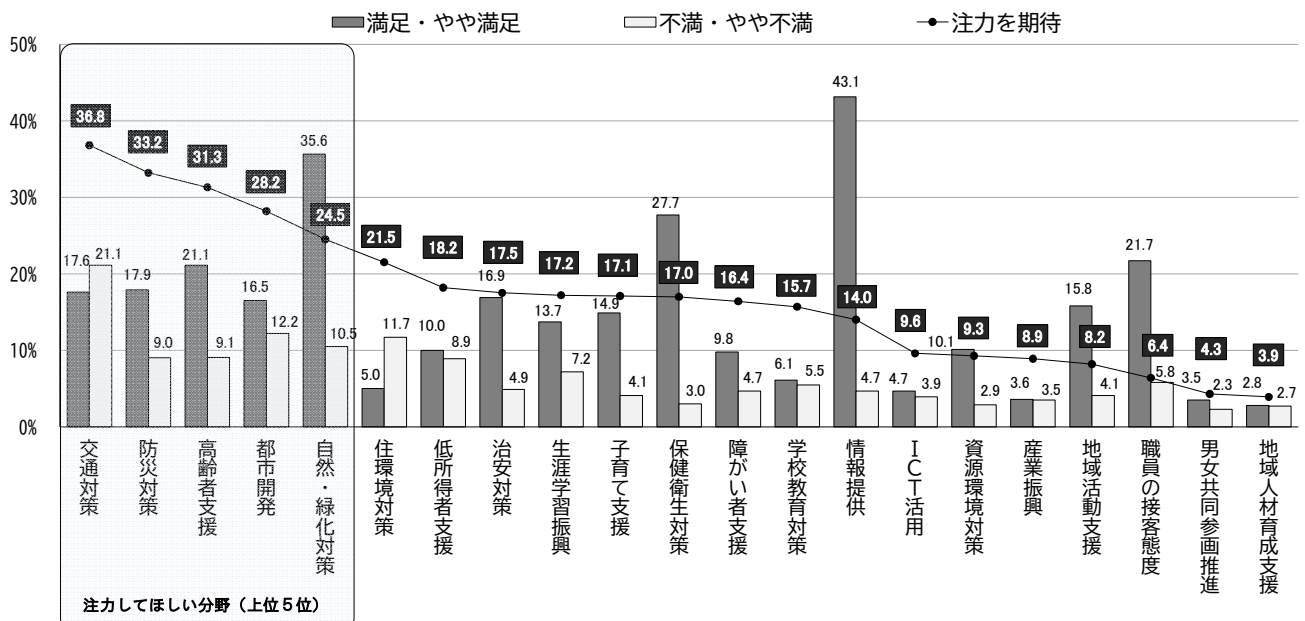
(7) 「満足評価」「不満評価」「注力を期待」の状況から見えてくる課題となる取り組み

ア 各取り組みに対する、「満足評価」「不満評価」「注力を期待」の状況をみると、下記の取り組みが課題となっている。

a 「注力を期待」が大きく、「満足評価」より「不満評価」の方が大きいのは、〈交通対策〉

b 「注力を期待」が大きく、「満足評価」の方が大きいものの「不満評価」と大きな差がないのは、〈都市開発〉

c 「注力を期待」は中位だが、「満足評価」より「不満評価」の方が大きいのは、〈住環境対策〉

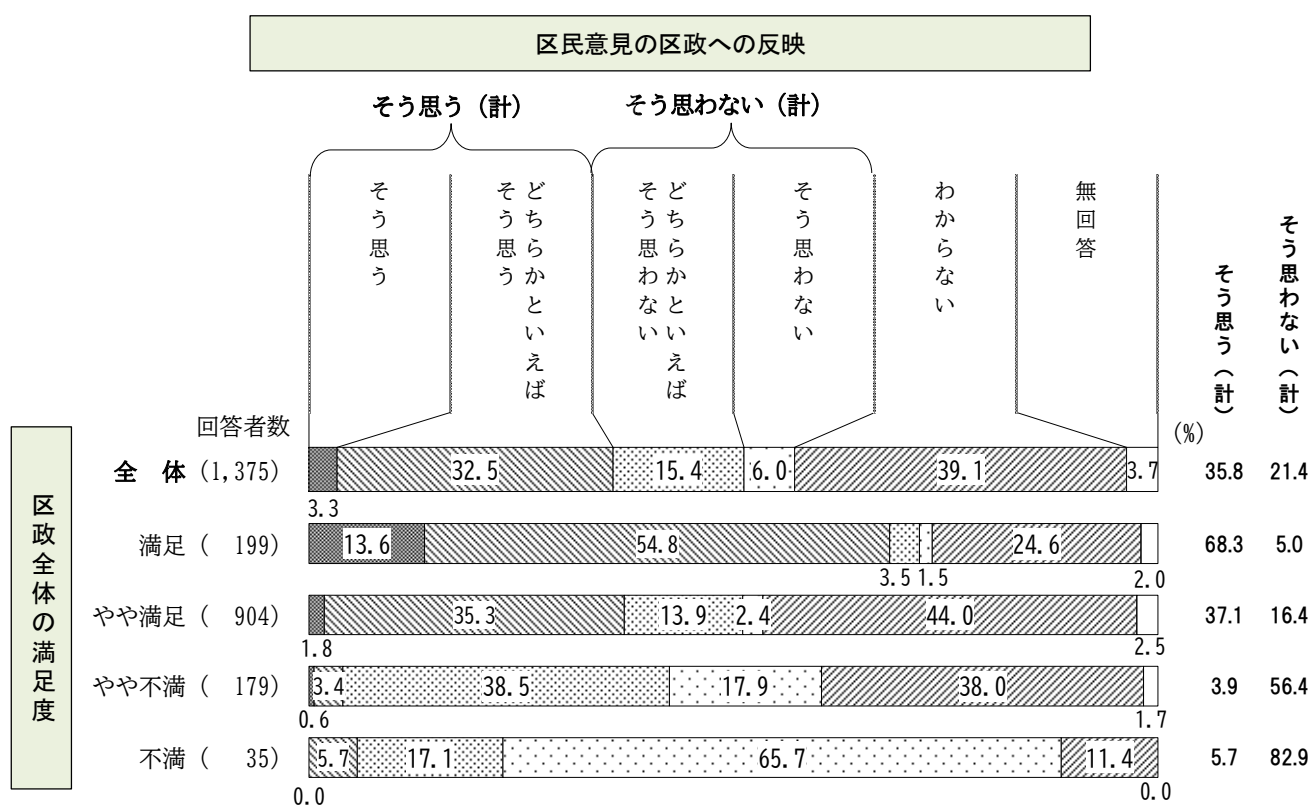


(8) 区政への区民意見の反映について、【そう思う】は2ポイント増加し3割台半ば、【そう思わない】は約3ポイント減少し2割強、「わからない」は変わらず約4割

ア 区政に区民の意見が反映されていると感じているか聞いたところ、「そう思う」(3.3%)と「どちらかといえばそう思う」(32.5%)を合わせた【そう思う】は35.8%となり、「どちらかといえばそう思わない」(15.4%)と「そう思わない」(6.0%)を合わせた【そう思わない】(21.4%)を14.4ポイント上回っている。

イ 前回調査と比較してみると、【そう思う】は微増となっているものの、前々回調査から6ポイント増加している。

ウ 区政満足度別でみると、【そう思う】は、区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層では7割近くと高くなっている。



区に対する気持ち 経年比較／性・年代別

1 足立区に愛着を持っている

| 全体 | 平成29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 74.2 | 74.7 | 74.5 | 75.5 | 73.3 | 70.1 | 68.0 | 71.8 | 72.2 |

| 男性 | 平成29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 76.1 | 76.1 | 75.1 | 77.5 | 73.9 | 71.2 | 67.7 | 72.7 | 75.2 |
| 18～19歳 | — | — | — | — | 68.1 | 55.2 | 59.3 | 71.2 | 64.1 |
| 20代 | 68.4 | 74.6 | 72.5 | 62.7 | | | | | |
| 30代 | 74.5 | 65.1 | 69.5 | 80.0 | 56.8 | 58.2 | 53.0 | 75.8 | 75.0 |
| 40代 | 75.7 | 77.5 | 71.7 | 79.3 | 74.4 | 68.3 | 68.4 | 76.4 | 80.9 |
| 50代 | 82.9 | 76.0 | 81.6 | 79.7 | 78.7 | 71.8 | 71.8 | 66.4 | 81.5 |
| 60代 | 69.3 | 81.4 | 76.9 | 77.5 | 78.6 | 78.4 | 66.0 | 76.7 | 73.5 |
| 70歳以上 | 81.6 | 76.9 | 74.5 | 77.9 | 76.3 | 78.1 | 73.0 | 72.4 | 71.0 |

| 女性 | 平成29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 73.6 | 73.6 | 73.9 | 74.3 | 73.2 | 69.2 | 68.4 | 71.3 | 70.3 |
| 18～19歳 | — | — | — | — | 67.5 | 54.3 | 59.4 | 65.4 | 63.5 |
| 20代 | 72.5 | 64.9 | 59.1 | 66.3 | | | | | |
| 30代 | 66.9 | 74.5 | 73.7 | 75.0 | 72.7 | 62.3 | 59.3 | 65.0 | 68.1 |
| 40代 | 73.5 | 71.0 | 72.0 | 74.7 | 71.9 | 72.0 | 66.9 | 74.6 | 71.6 |
| 50代 | 74.0 | 74.7 | 79.2 | 73.2 | 74.7 | 72.3 | 69.7 | 76.8 | 76.8 |
| 60代 | 77.3 | 72.0 | 80.0 | 76.1 | 70.8 | 68.5 | 75.0 | 69.6 | 68.5 |
| 70歳以上 | 74.6 | 78.1 | 73.2 | 76.6 | 76.9 | 73.7 | 72.9 | 71.2 | 69.8 |

2 足立区に誇りをもっている

| 全体 | 平成29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 49.2 | 49.7 | 52.6 | 53.4 | 45.6 | 42.5 | 37.6 | 43.5 | 44.7 |

| 男性 | 平成29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 51.5 | 52.7 | 55.6 | 56.8 | 48.9 | 43.6 | 38.8 | 44.7 | 47.3 |
| 18～19歳 | — | — | — | — | 43.1 | 23.9 | 25.4 | 32.7 | 35.9 |
| 20代 | 36.8 | 50.8 | 40.6 | 45.8 | | | | | |
| 30代 | 42.9 | 31.4 | 42.7 | 52.9 | 30.9 | 34.3 | 22.7 | 36.4 | 44.6 |
| 40代 | 54.9 | 51.2 | 52.5 | 50.7 | 41.4 | 40.0 | 28.9 | 43.8 | 41.5 |
| 50代 | 57.7 | 51.9 | 60.5 | 54.4 | 48.2 | 36.3 | 37.3 | 39.5 | 47.4 |
| 60代 | 46.0 | 54.3 | 58.7 | 62.0 | 53.4 | 45.9 | 44.7 | 46.5 | 41.2 |
| 70歳以上 | 59.9 | 62.3 | 62.8 | 64.2 | 61.1 | 58.7 | 53.0 | 53.3 | 57.4 |

| 女性 | 平成29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 47.7 | 47.5 | 50.1 | 50.9 | 43.1 | 41.6 | 36.9 | 43.1 | 43.1 |
| 18～19歳 | — | — | — | — | 28.9 | 31.4 | 22.8 | 38.3 | 39.2 |
| 20代 | 34.8 | 33.8 | 40.9 | 45.7 | | | | | |
| 30代 | 34.7 | 41.8 | 43.2 | 43.8 | 29.3 | 22.8 | 27.4 | 31.3 | 24.2 |
| 40代 | 47.1 | 36.6 | 43.9 | 50.0 | 39.5 | 32.2 | 37.9 | 47.5 | 40.0 |
| 50代 | 41.6 | 48.8 | 51.0 | 48.0 | 47.3 | 41.3 | 41.1 | 43.7 | 44.4 |
| 60代 | 58.2 | 44.8 | 54.2 | 47.2 | 35.4 | 42.5 | 34.2 | 40.0 | 49.6 |
| 70歳以上 | 55.5 | 63.9 | 57.3 | 61.1 | 56.0 | 57.0 | 44.7 | 47.7 | 48.5 |

3 足立区を人に勧めたい

| 全体 | 平成29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 47.6 | 48.2 | 51.8 | 50.5 | 44.5 | 41.7 | 39.6 | 44.4 | 47.1 |

| 男性 | 平成29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 49.6 | 52.6 | 54.2 | 54.8 | 47.9 | 43.5 | 39.8 | 46.5 | 49.0 |
| 18～19歳 | — | — | — | — | 40.3 | 34.3 | 32.2 | 53.8 | 46.2 |
| 20代 | 42.1 | 59.3 | 46.4 | 42.4 | | | | | |
| 30代 | 49.0 | 47.7 | 62.2 | 68.6 | 34.6 | 46.3 | 40.9 | 51.5 | 51.8 |
| 40代 | 56.9 | 51.9 | 55.0 | 52.7 | 51.1 | 45.8 | 38.6 | 44.9 | 57.4 |
| 50代 | 52.0 | 53.5 | 57.8 | 51.3 | 51.1 | 39.5 | 40.8 | 46.2 | 51.9 |
| 60代 | 38.0 | 50.4 | 49.6 | 54.3 | 48.9 | 39.6 | 40.4 | 40.7 | 41.2 |
| 70歳以上 | 55.3 | 53.8 | 53.2 | 58.3 | 51.6 | 48.8 | 41.6 | 46.2 | 46.6 |

| 女性 | 平成29年 | 30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 46.5 | 44.7 | 49.8 | 47.7 | 41.5 | 40.2 | 39.6 | 42.9 | 45.8 |
| 18～19歳 | — | — | — | — | 38.6 | 40.0 | 32.7 | 51.9 | 48.6 |
| 20代 | 43.5 | 36.4 | 43.9 | 46.7 | | | | | |
| 30代 | 42.4 | 48.2 | 53.4 | 50.9 | 48.5 | 36.8 | 45.1 | 47.5 | 42.9 |
| 40代 | 47.6 | 37.2 | 52.2 | 52.4 | 37.1 | 38.1 | 41.9 | 52.5 | 49.5 |
| 50代 | 42.2 | 47.5 | 55.0 | 43.0 | 46.0 | 37.4 | 47.4 | 45.7 | 52.1 |
| 60代 | 53.2 | 44.8 | 49.2 | 38.7 | 36.9 | 38.6 | 36.7 | 36.0 | 48.0 |
| 70歳以上 | 47.3 | 49.8 | 45.1 | 52.3 | 42.1 | 45.4 | 34.9 | 35.4 | 39.6 |

第2章 調査結果の要約

4 足立区を良いまちにするために何かしたい

| 全体 | 平成30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|----|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 52.3 | 52.8 | 54.0 | 51.7 | 48.1 | 45.5 | 49.9 | 52.2 |

| 男性 | 平成30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 53.5 | 54.1 | 56.4 | 52.2 | 48.1 | 46.8 | 52.5 | 54.2 |
| 18～19歳 | — | — | — | 45.8 | 40.3 | 39.0 | 59.6 | 56.4 |
| 20代 | 45.8 | 39.1 | 44.1 | | | | | |
| 30代 | 52.3 | 56.1 | 57.1 | 44.4 | 47.8 | 43.9 | 62.1 | 55.4 |
| 40代 | 60.5 | 57.5 | 54.0 | 57.1 | 55.8 | 49.1 | 66.3 | 55.3 |
| 50代 | 57.4 | 58.8 | 57.0 | 56.7 | 50.0 | 49.3 | 53.8 | 61.5 |
| 60代 | 46.5 | 47.9 | 58.1 | 58.0 | 45.0 | 47.9 | 43.0 | 46.1 |
| 70歳以上 | 53.8 | 56.9 | 59.8 | 47.9 | 46.8 | 46.5 | 44.7 | 51.7 |

| 女性 | 平成30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 51.9 | 51.8 | 52.2 | 51.9 | 48.1 | 44.9 | 48.1 | 50.8 |
| 18～19歳 | — | — | — | 54.2 | 41.4 | 42.6 | 45.7 | 51.4 |
| 20代 | 41.6 | 39.4 | 41.3 | | | | | |
| 30代 | 54.5 | 51.7 | 58.0 | 58.6 | 43.9 | 48.7 | 51.3 | 41.8 |
| 40代 | 52.5 | 63.7 | 58.4 | 53.9 | 48.3 | 50.8 | 61.9 | 65.3 |
| 50代 | 52.5 | 60.4 | 53.6 | 58.7 | 58.1 | 49.7 | 57.0 | 51.4 |
| 60代 | 59.4 | 45.8 | 49.3 | 53.8 | 55.9 | 45.8 | 44.0 | 57.5 |
| 70歳以上 | 48.5 | 45.1 | 49.8 | 42.9 | 41.8 | 37.6 | 37.9 | 44.3 |

5 足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する

| 全体 | 平成30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|----|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 75.7 | 75.3 | 77.7 | 74.0 | 70.7 | 69.8 | 73.0 | 76.2 |

| 男性 | 平成30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 75.1 | 75.0 | 77.5 | 71.8 | 70.7 | 69.2 | 71.8 | 77.1 |
| 18～19歳 | — | — | — | 66.7 | 59.7 | 62.7 | 67.3 | 69.2 |
| 20代 | 64.4 | 59.4 | 67.8 | | | | | |
| 30代 | 76.7 | 79.3 | 82.9 | 61.7 | 68.7 | 57.6 | 74.2 | 71.4 |
| 40代 | 76.7 | 80.0 | 75.3 | 78.9 | 77.5 | 71.9 | 78.7 | 83.0 |
| 50代 | 78.3 | 80.3 | 77.2 | 72.3 | 73.4 | 77.5 | 74.8 | 81.5 |
| 60代 | 75.2 | 72.7 | 76.7 | 80.2 | 69.4 | 67.0 | 62.8 | 74.5 |
| 70歳以上 | 74.5 | 72.9 | 80.9 | 66.8 | 70.1 | 68.6 | 71.4 | 75.6 |

| 女性 | 平成30年 | 令和元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 |
|--------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全体 | 76.4 | 75.6 | 77.8 | 76.4 | 70.9 | 70.3 | 74.2 | 75.7 |
| 18～19歳 | — | — | — | 72.3 | 68.6 | 66.3 | 71.6 | 68.9 |
| 20代 | 61.0 | 66.7 | 66.3 | | | | | |
| 30代 | 79.1 | 71.2 | 81.3 | 80.8 | 67.5 | 72.6 | 71.3 | 69.2 |
| 40代 | 80.3 | 80.3 | 84.3 | 80.2 | 66.1 | 76.6 | 82.2 | 87.4 |
| 50代 | 79.0 | 83.2 | 77.7 | 82.0 | 81.3 | 76.0 | 78.8 | 78.2 |
| 60代 | 82.5 | 75.0 | 81.7 | 75.4 | 78.0 | 72.5 | 76.0 | 81.1 |
| 70歳以上 | 71.7 | 72.8 | 74.1 | 70.7 | 65.3 | 63.1 | 68.3 | 71.1 |

区政の満足度と正の相関がみられる / 暮らしやすさ / 定住意向 / 情報の入手 / 治安

※各割合(%)は全体(1,375)に対する割合となっています。

1 「区政に満足している層」は<暮らしやすい>と感じている

| | <区政満足度> | | | | | (%) |
|----------------|---------|------|------|-----|-----|-----|
| | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 | |
| <暮らしやすさ> | 14.5 | 65.7 | 13.0 | 2.5 | 4.2 | |
| 暮らしやすい | 9.9 | 17.5 | 0.7 | 0.1 | 1.1 | |
| どちらかといえば暮らしやすい | 3.6 | 42.5 | 7.9 | 1.1 | 2.5 | |
| どちらかといえば暮らしにくい | 0.7 | 4.6 | 3.3 | 0.8 | 0.2 | |
| 暮らしにくい | 0.0 | 0.3 | 0.7 | 0.6 | 0.1 | |
| 《暮らしやすい・計》 | 73.5 | | 9.8 | | | |

2 「区政に満足している層」は<住み続けたい>と考えている

| | <区政満足度> | | | | | (%) |
|------------|---------|------|------|-----|-----|-----|
| | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 | |
| <定住意向> | 14.5 | 65.7 | 13.0 | 2.5 | 4.2 | |
| ずっと住み続けたい | 9.8 | 24.5 | 2.0 | 0.1 | 2.1 | |
| 当分は住み続けたい | 3.9 | 33.5 | 6.1 | 0.7 | 1.5 | |
| 区外に転出したい | 0.2 | 2.3 | 1.5 | 0.9 | 0.1 | |
| わからない | 0.4 | 4.9 | 3.2 | 0.7 | 0.3 | |
| 《住み続けたい・計》 | 71.7 | | 8.9 | | | |

3 「区政に満足している層」は<区の情報が得られている>

| | <区政満足度> | | | | | (%) |
|---------------|---------|------|------|-----|-----|-----|
| | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 | |
| <区の情報の入手状況> | 14.5 | 65.7 | 13.0 | 2.5 | 4.2 | |
| 十分に得られている | 2.5 | 2.3 | 0.2 | 0.1 | 0.1 | |
| ある程度得られている | 10.0 | 46.8 | 6.8 | 0.9 | 2.3 | |
| 得られないことが多い | 1.0 | 7.6 | 2.8 | 0.4 | 0.8 | |
| まったく得られない | 0.1 | 1.0 | 0.6 | 0.5 | 0.1 | |
| 必要と思ったことがない | 0.5 | 5.0 | 1.5 | 0.2 | 0.2 | |
| 区の情報に関心がない | 0.1 | 1.6 | 1.1 | 0.2 | 0.1 | |
| 《情報が得られている・計》 | 61.6 | | 8.0 | | | |

4 「区政に満足している層」は<地域の治安が良い>と感じている

| | <区政満足度> | | | | | (%) |
|--------------|---------|------|------|-----|-----|-----|
| | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 | |
| <地域の治安状況> | 14.5 | 65.7 | 13.0 | 2.5 | 4.2 | |
| 良い | 4.2 | 6.3 | 0.3 | 0.1 | 0.1 | |
| どちらかといえば良い | 7.6 | 39.5 | 3.9 | 0.6 | 1.4 | |
| どちらかといえば悪い | 1.2 | 12.9 | 5.2 | 0.7 | 1.1 | |
| 悪い | 0.1 | 1.1 | 1.0 | 0.8 | 0.1 | |
| わからない | 0.4 | 4.7 | 2.3 | 0.3 | 0.8 | |
| 《地域の治安が良い・計》 | 57.6 | | 4.9 | | | |